

ユニバーサルデザイン計画

【駐車場】

- ・車いす使用者専用駐車場を6台設置のほか、パーキング・パーミット制度※を導入し、おもいやり駐車場を6台設置
- ・庁舎出入口の近くにバス停や車寄せを配置

※パーキング・パーミット制度…障害者用駐車区画の利用対象者を限定し、対象者に利用証を交付する制度

【敷地内通路・庁舎内廊下】

- ・敷地出入口、車寄せ、バス停から総合案内までの経路に視覚障害者用誘導ブロックを設置
- ・誘導ブロックは黄色とし、識別がしやすいように配慮するとともに、屋内の誘導ブロックは低突起タイプを導入することで車いす利用者の通行や歩行者のつまづき防止に配慮

防災計画

【市民とともに生きる防災庁舎】

- ・防災の拠点として、地震や豪雨などの自然災害に対して庁舎全体の安全性を確保
- ・市民ホールは一部コンセントの利用ができ、電力供給が可能

【庁舎機能継続への方策】

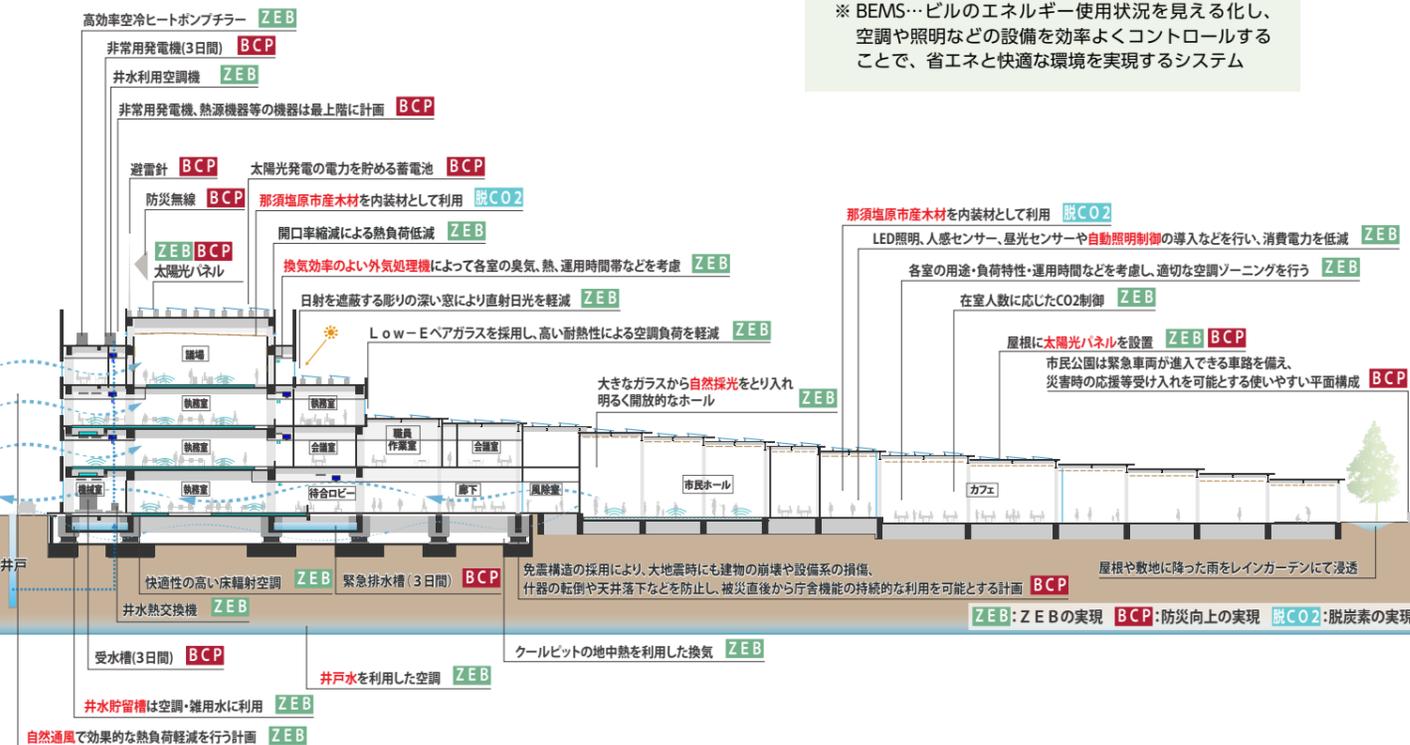
- ・庁舎ゾーンは鉄筋コンクリート造一部鉄骨造の免震構造とし、市民ゾーンは鉄骨造の耐震構造
- ・72時間分の電力供給能力を持つ発電機と蓄電池を組み合わせ、長期的な停電にも対応

環境計画

【自然エネルギーの有効活用と環境負荷の低減】

- ・省エネ50%+創エネ25%により Nearly ZEB※を取得
- ・CASBEE※新築評価Sランクを取得
- ・BEMS※による更なる省エネ化を実施

※ Nearly ZEB…使うエネルギーを大幅に減らし、太陽光発電などでエネルギーを創り出すことで、年間のエネルギー消費量を削減した建物
 ※ CASBEE…省エネや環境配慮に加え、快適性や景観を総合的に考慮し、建築物の品質をS~Cの5段階で評価するシステム
 ※ BEMS…ビルのエネルギー使用状況を見える化し、空調や照明などの設備を効率よくコントロールすることで、省エネと快適な環境を実現するシステム



新庁舎の実施設計が完了

市民が親しみやすく、まちに開かれた“City Hall”と行政機能の中心である“City Office”。2つの要素が結びついた、新たな“那須塩原市役所”が誕生します。

※令和9年度下期開庁予定

建築概要

敷地面積：32,182.70㎡(北側敷地駐車場 2,507.76㎡含む)
 延べ面積：15,298.49㎡(庁舎棟：14,544.80㎡、車庫棟など：753.69㎡)
 階数：地上4階建て、地階なし
 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、免震構造

▶問い合わせ
 本那須塩原駅周辺整備室
 ☎0287(73)5175



【基本方針】

- ・親しみやすい便利な庁舎
- ・交流によるまちづくりの拠点となる庁舎
- ・防災拠点となり市民の安全を守る庁舎
- ・環境負荷の低減に配慮した経済的で効率的な庁舎
- ・市民に開かれた庁舎

【設計コンセプト】

『市民公園』がつなぐ開かれた『みどり』の市役所



市民公園は、人が集う場所として賑わいを創出



夕焼け空の下では建物が表情を変え、穏やかで美しい情景を演出

外装

那須塩原のやまなみや田園と調和した穏やかな色彩をイメージ。木目調のアルミパネルを使用し、木の温かみを表現しながらメンテナンス性を保ちます。



内装

那須塩原市の木材を使用。効率よく光を取り込み、全体が明るくなるような内装材を選定。

